

Mizuho Daily Market Report

2023/8/16

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	145.80	145.57	+0.01	+2.19
EUR	1.0924	1.0905	▲0.0001	▲0.0051
AUD	0.6468	0.6455	▲0.0032	▲0.0089
SGD	1.3574	1.3583	+0.0026	+0.0108
CNY	7.2846	7.2884	+0.0311	+0.0698
MYR	4.6353	4.6360	+0.0203	+0.0530
THB	35.37	35.39	+0.30	+0.44
IDR	15346	15340	+25	+122
PHP	56.83	56.85	+0.03	+0.59
INR	82.95	82.96	+0.00	+0.12

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.211%	+2.0 bp	+18.9 bp
日本(10年)	0.632%	+2.0 bp	+2.2 bp
ユーロ圏(10年)	2.672%	+3.5 bp	+20.3 bp
オーストラリア(5年)	4.008%	+6.3 bp	+24.2 bp
シンガポール(5年)	3.094%	+4.7 bp	+15.0 bp
中国(5年)	2.376%	▲3.0 bp	▲4.7 bp
マレーシア(5年)	3.651%	+0.4 bp	+5.3 bp
タイ(5年)	2.434%	+0.1 bp	+1.1 bp
インドネシア(5年)	6.115%	+2.3 bp	+5.7 bp
フィリピン(5年)	6.127%	▲0.7 bp	▲6.2 bp
インド(5年)	7.185%	+0.0 bp	+5.2 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	34,946.39	▲1.0%	▲1.0%
N225(日本)	32,238.89	+0.6%	▲0.4%
STOXX50(ユーロ圏)	4,288.57	▲1.0%	▲0.0%
ASX(オーストラリア)	4,039.10	▲1.4%	▲1.7%
FTSEI(シンガポール)	3,232.74	▲0.5%	▲2.4%
SSEC(中国)	3,176.18	▲0.1%	▲2.6%
KLSE(マレーシア)	1,460.28	+0.2%	+0.6%
SETI(タイ)	1,520.73	▲0.9%	+0.2%
JKSE(インドネシア)	6,915.101	+0.1%	+0.7%
PSE(フィリピン)	6,335.91	+0.1%	▲2.1%
SENSEX(インド)	65,401.92	+0.0%	▲0.7%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	274.30	▲1.4%	▲1.8%
金	1,902.00	▲0.3%	▲1.2%
原油(WTI)	80.99	▲1.8%	▲2.3%
銅	8,143.50	▲1.2%	▲1.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	144.50	—	146.50
EUR/USD	1.0850	—	1.1000
AUD/USD	0.6400	—	0.6550
USD/SGD	1.3500	—	1.3600
USD/CNY	7.2500	—	7.3000
USD/MYR	4.5900	—	4.6650
USD/THB	35.00	—	35.55
USD/IDR	15280	—	15380
USD/PHP	56.70	—	57.30
USD/INR	82.80	—	83.30

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

日本において4-6月期のGDP速報値が発表され前年比6.0%増と市場予想を上回るも影響は限定的となる中、アジア時間のドル円は145円台半ばでオープン。本邦当局による円安牽制発言が見られたもの目立った反応は無く145円台半ばを中心とした方向感に乏しい推移が継続。結局145円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は全般的に軟調推移。中国人民銀行が1年物MLF金利を引き下げたことや、その後中国で発表された7月鉱工業生産と小売売上高が市場予想を下回り景気減速懸念が意識されたことがアジア通貨の重石となった。

海外市場のドル円は145円台半ばでNYオープン。NY時間朝方は、8月NY連銀製造業景況指数が予想以上に悪化したが、米7月小売売上高が大きく予想を上回り、再び145円台後半まで戻す。しかし上昇していた米金利が反落する動きや、中国景気に対する懸念から米株式市場が軟化する動きに145円台前半まで反落する。NY時間午後は、米金利が再び上昇する展開にドル円も反発し145円台半ばでクローズした。

【金利】

米債利回りは中期ゾーン以降で小幅に上昇して終了。朝方発表された7月の米小売売上高の前月比上昇率が市場予想を上回ったことからやや売られるも、2年債利回りが5%を上抜けたところで反転し、株安にも押されて買い優勢に転じたが、10年債利回りは前日比で小幅上昇。カーブはツイストステイフ化。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。昨日は中国に対する景気減速懸念等を背景に株価が軟調推移となるとドル円も下押しする局面も見られたが、発表された米7月小売売上高が市場予想を上回る数字となったことから米金利は上昇。引き続き円安けん制発言には注意が必要な水準であるものの、米金利が上昇基調で推移する中ドルが買われやすい地合いが継続すると予想する。

【本日の予定】

(日本) 7月 全国百貨店売上高 / 東京地区百貨店売上高
(日本) 輪番 1-3y、5-10y、25y超
(アジア) 7月 中国 新築住宅価格
(アジア) 7月 豪 ウェストバック 景気先行指数
(アジア) 休場 インド
(欧州) 2Q ユーロ圏 GDP
(欧州) 2Q ユーロ圏 雇用(速)
(欧州) 6月 ユーロ圏 鉱工業生産
(欧州) 6月 英 住宅価格指数
(欧州) 7月 英 CPI / PPI
(欧州) 7月 英 小売物価指数
(米国) 7月 建設許可件数 / 住宅着工件数 / 住宅建設許可
(米国) 7月 鉱工業生産 / 設備稼働率 / 製造業生産
(米国) 8月 ニューヨーク連銀サービス活動
(米国) FOMC議事要旨
(米国) MBA住宅ローン申請指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。